

かくし、いなひき、手ぬぐい落とし、帽子とり、じゃんけん遊  
び、石けり、大日本字書き、魚釣り、ざこトスカン取り、走り競  
争、すわり当番、まり送り、スプリンレース、リレー、丸とび、  
すもう、うずまき鬼ごっこ、ここはどここの細道じゃ、砂山のすべ  
りごっこ、トンネルごっこ、兵隊遊び、ズイズズッコロボ  
シ、乳母車で電車ごっこ、お砂で粉やごっこ、草の上でお話ご  
っこ、猫とねずみ、歌劇ごっこ、日傘で遊戯、目かくし鬼ごっ  
こ、技能のポート流し

以上の種目をしずかに眺めて行きますと、ほんとにやさしい子  
どもたちには崇高な大自然の作為に触れて喜々として神の招きに  
近よりつつあるようすがまざまざとして思い浮かべられます。

もし、今後の自然保育者が、幼児を自然に導びこうとする手引  
きとして、参考さるるなら、最適当であると思います。

おもしろいことはこの考察が、大抵は幼児自身の生活から娘た  
ちが、養い覚えたものかまたは発見したものであって、かの大人  
的な、功利的な考えから出発したような、苦心のあとをとどめて  
いないことであります。

(つづく)

## 幼児の教育 第七十四巻 第二号

二月号 © 定価二〇〇円

昭和五十年一月二十五日印刷

昭和五十年二月 一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売  
所フレーベル館にお願いいたします